

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2023年度 助成者)

作成日 2023年8月21日

氏名 (フリガナ)	戸松 篤志 (トマツ アツシ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2023年8月14日 (月) ~ 8月19日 (土)
大学名	愛知医科大学医学部
学年	6年
<p>はじめに</p> <p>命、パスポート、現金とクレジット、通信手段と交通手段に関しては自分で責任を持ちましょう。Daniel K. Inoue airport の周りは電車がありません。2025年にモノレールが開通予定です。空港のまわりはSIM card shop や外貨両替店やコンビニ、外国人向けの shopping mall がありません。交通手段や通信手段に関しては、日本で電話機能付きのSIM card を購入しておくこと、Uber, Taxi, Local Bus など交通手段を決めておくこと、前日の滞在先はWaikikiにすることをお勧めします。市バス(現金 or HOLO card)は車椅子やスーツケースも乗れて、安くて早くて快適なことで有名です。</p> <p>滞在先はHawaii Tokai International College(2年制高校)です。</p> <p>プログラムでお世話になるJohn A. Burns School Of Medicine, University of Hawai'iは4年制大学です。80人募集に対して応募者3000人の超人気校です。Primary care を重視し、最初の2年はProblem Based Learning という成人学習理論に基づいた教育がなされます。残りの2年は臨床実習です。</p> <p>英語力</p> <p>私はIELTS 6.0→6.5に上がりました。</p> <p>HTICの学生はIELTS 7.0です。</p> <p>3 Lessons</p> <ul style="list-style-type: none">• Prove Case Presentation <p>The United States の resident program course の面接では鑑別疾患の多さや論理力が重視されます。日本人が the US で生き残るためには、case presentation で能力を証明するしかありません。特に白人はお金や論理に強い傾向らしいです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Problem Based Learning <p>チームは Faculty Tutor 大学の教員、Reader 症例を読む人、Scribe 書記、Researchers 情報を調べる人たちの計6~8人からなります。私は、1週間を通してScribeのやり方を学びました。JABSOMの1年生のscribeを見学したところ、書取りが早く正確で美しく、見返しやすかったです。</p> <ul style="list-style-type: none">• Freedom with great responsibility <p>The US の人たちは優しいですが、ルールに厳しいです。なぜなら、人々の生活、価値観、考え方が違うからです。たとえば、行きのハワイ空港の immigration office で、別室に閉じ込められました。このプログラムの授業数は11時間ですが、15時間=1credit以上稼いでしまうと student VISA が必要になることを知りました。また、program coordinator の Ms. Kuriyama に帰りのタクシーを予約してほしいと頼んだところ、今回はスケジュール以外の生活はすべて自己責任というルールがあるためできないと言われました。電車に乗ってみたものの Aloha stadium station でタクシーがつかまらなくて、飛行機に乗り遅れました。しかし、無料で航空券を次の便に変更してくれました。自由には大いなる責任が伴います。現地の人が助けてくれて、1週間生き残りました。 The Good Samaritan でした。</p>	